

一般社団法人 日本医学教育評価機構
平成29年度事業報告
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

I 事業の実施にあたって基本的方針

日本医学教育評価機構の目的は、定款第3条において「我が国の医学教育の質を国際的な見地から保証することによって、医学教育の充実・向上を図り、我が国の保健、医療、福祉、衛生、並びに国際保健に貢献するため、医学部・医科大学等における建学の理念を確認するとともに、世界医学教育連盟(WFME)の国際基準をふまえて医学教育プログラムを公正かつ適正に評価することを目的とする。」と定めている。また、定款第4条において、目的を達成するために以下の事業を実施することとしている。

- (1) 医学教育プログラム評価基準の策定と改訂
- (2) 医学教育プログラムの評価事業
- (3) 医学教育プログラムの充実・向上に関する教育事業
- (4) 医学教育プログラムの充実・向上に関する調査研究
- (5) 医学教育プログラムの充実・向上に関する機関誌及び学術図書の発行
- (6) 国内外関係機関との連携及び諸外国の医学教育評価の情報収集
- (7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

この定款に定められた目的及び事業を達成するため、組織体制と評価態勢の整備を図りながら、医学教育分野別評価を実施するとともに、公正・適切な評価のための調査研究、各種研修会・セミナー、広報活動等を実施した。

II 平成29年度に実施した事業

1. 評価基準及びマニュアル等の整備・改訂

- (1) 世界医学教育連盟(WFME)グローバルスタンダード2015年版準拠の医学教育分野別評価基準日本版の全体的な見直しを行い、基本的水準及び質的向上のための水準について、より適切な理解に向けて語句や表現の修正を行った。また、注釈及び日本語注釈についても同様の修正を行った。
- (2) 評価員の手引きの内容の見直しを行い、評価員の任務等に加筆修正を行った。
- (3) 受審要項の内容の見直しを行い、準備等の取り扱いについて加筆修正を行った。

2. 平成29年度 認定医学部・医科大学

医学教育分野別評価の結果、理事会の議を経て認定が確定した大学は以下のとおりである。

認定大学には、認定証を交付するとともに、当機構ホームページにおいて認定したことを公表した。

大学名	大学名	大学名
新潟大学	東京医科歯科大学	東京慈恵会医科大学

千葉大学	東京大学	富山大学
筑波大学	京都府立医科大学	岐阜大学
和歌山県立医科大学	奈良県立医科大学	

3. 医学教育分野別評価事業の実施

理事会において決定した評価事業計画に基づき、12大学医学部・医科大学の評価を実施した。

評価は書面調査と実地調査からなり、実地調査は4泊5日の日程で実施。評価チームの編成に当たっては、評価員7名と事務局職員2名の合計9名体制とし、主査・副査・評価員のそれぞれの任務を明確にしたうえで評価を実施した。

また、実地調査後の審議手続きとして、総合評価部会、評価委員会、異議審査委員会を精力的に開催し、評価報告書（案）の審議、異議申請書の審議、認定の判定等を行った。

4. 評価員養成研修会等の教育事業の実施

(1) 評価者養成ワークショップ

評価事業計画を確実に実施するうえで、医学教育分野別評価に精通した評価員の養成が不可欠であるため、医学部長等から推薦された評価員候補者に対して、評価の仕組みや視点、判定等についてワークショップ形式の研修会を実施した。参加者：18名

(2) 自己点検評価報告書作成に関するワークショップ

自己点検評価報告書は医学教育分野別評価において重要な位置づけになることから、参加者の関心も高いため、医学教育分野別評価の概要から評価基準の読み方の講演、実施済み大学の事例紹介などを経て、ワークショップ形式で自己点検評価報告書作成と総合討論を行った。

参加者：63名

以上の、評価者養成ワークショップ及び自己点検評価報告書作成に関する講習会では、参加者の理解向上に資するため、評価者研修委員会委員が講師として指導を行った。

(3) 事務担当者説明会

受審大学においては事務部門の積極的なかわりが重要になることから、平成30年度受審予定医学部等を対象に事務担当者説明会を開催した。参加者：27名

5. 公正・適切な評価システムの確立のための調査・研究

評価機関として公正・適切な評価システムを確立することは重要な課題であるため、調査・解析委員会において医学部等の実地調査の際に抽出した評価員データの比較分析を行い、総合評価部会長に「医学教育分野別評価に関する提言」を行った。

6. 広報活動の推進

会員大学に対して評価に関する情報提供や、広く社会に対して当機構の活動内容を発信するため、広報委員会の企画により、ホームページの整備の他、新たに広報誌「JACME Newsletter」を刊行し、会員大学・機関、関係省庁に配布するとともに、各種会議等においても配布した。

また、医学教育専門誌に医学教育分野別評価と機構の事業内容について特別寄稿文を掲載した。

7. 国内外関係機関との連携及び情報収集

担当理事が、日本学術会議及び全国医学部長病院長会議において分野別質保証に関する調査・解析等に主導的立場で参加した。また日本医学教育学会総会に参加し、当機構の評価事業の取り組みについて講演を行った。さらに、大学では評価受審が負担増になっていることから、認証評価機関及び分野別評価機関との間で評価の在り方等について協議を開始した。

8. 財務基盤の強化に向けた検討

機構の事業計画を円滑に推進するうえで安定した財務基盤が不可欠であるため、財務委員会において財務基盤の強化に向けた取り組みを検討した結果、引き続き適正な COI 管理のもと賛助会員の募集を行うとともに、世界医学教育連盟の次回認証評価受審に向けて評価手数料等の積み立てを提案することとした。

9. その他の事業

(1) 会議開催関係

①社員総会

定款の規定に基づき定時社員総会を開催した。

【開催日】 平成29年 6月26日

【審議議案】 役員、部会長、委員長の選任、平成29年度事業計画（案）、平成29年度収支予算書（案）、平成28年度事業報告、平成28年度決算報告、他

②理事会

定款の規定に基づき通常理事会と臨時理事会を開催した。

第1回通常理事会

【開催日】 平成29年5月29日

【審議議案】 次期役員候補者の選出、医学教育分野別評価基準日本版の一部改正、平成28年度事業報告、平成28年度決算報告、他

第2回臨時理事会

【開催日】 平成29年6月26日

【審議議案】 理事長、副理事長、常勤理事の選出

第3回通常理事会

【開催日】 平成29年11月22日

【審議議案】 評価報告書（案）及び認定結果通知書（案）、規則の一部改正（案）、臨時理事会の開催要望、機関別評価と分野別評価について要望、他

第4回臨時理事会

【開催日】 平成30年3月26日

【審議議案】 評価報告書（案）及び認定結果通知書（案）、平成30年度事業計画（案）、平成30年度予算書（案）、他

③部会及び委員会

評価報告書（案）、異議申請書、認定の判定等の審議、その他の各種事業計画等を確実に推進するため部会及び委員会を精力的に開催した。

総合評価部会	2回
評価委員会	16回
基準・要項検討委員会	2回
異議審査委員会	4回
評価者研修委員会	2回
総務・渉外委員会	1回
財務委員会	2回
広報委員会	2回
調査・解析委員会	2回

(2) 事務局の整備

評価事業に関する業務執行を適切に対応するため、事務局の評価業務支援体制を整備した。

(平成29年度事務局体制)

事務局長	1名、
総務担当	1名、
会計担当	1名、
評価事業担当	5名（うち1名は出向職員）
計	8名